

伊藤忠エネクス株式会社

(東証一部上場 8133)

2022年3月期第3四半期 決算補足説明資料

2022年1月31日

ご注意

資料の内容につきましては細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りおよび当資料に掲載された情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切責任を負いかねます。

また、当資料に記載されている当社の現在の計画、戦略などは、当社が現時点で入手可能な情報を基礎として作成した見通しであり、これらの将来予測には、リスクや不確定な要因を含んでおります。そのため、実際の業績につきましては、記載の見通しと大きく異なる結果となることあり得ます。従って、当社として、その確実性を保証するものではありませんのでご了承ください。

- 本資料の数値について、特に断りのない場合はすべて国際会計基準（IFRS）ベースで記載しています。
- 本資料では、下記の通り表記を置き換えております。

「営業活動に係る利益」	⇒	「営業利益」
「当社株主に帰属する四半期純利益」	⇒	「四半期純利益」

業績ハイライト

2022年3月期第3四半期 決算概要

- 「**第3四半期純利益**」は、前年比+19.0%・18億円増加の**113億円**。
前年同期の原油価格の変動を捉えたオペレーションによる一過性収益の反動等があったものの、LPガス輸入価格上昇に伴う在庫影響やメガソーラーの子会社化に伴う評価益により増益となり、3Q累計の**過去最高益**を更新。
- 「**売上総利益に対する販管費率**」は、営業活動では一部回復はあったものの、販管費率を引続きコントロール(78.9%)。

売上収益 **6,570**億円 (前年比+27.4%)





営業利益 **179**億円 (前年比+12.5%)

売上総利益 **632**億円 (前年比▲1.9%)

四半期純利益 **113**億円 (前年比+19.0%)

新型コロナウイルス感染症の影響について

業績への影響（前年同期比）

 <p>石油</p>	<ul style="list-style-type: none"> □ リモート勤務や外出自粛の影響は残るものの、ガソリン・軽油の販売量は増加。
 <p>ガス</p>	<ul style="list-style-type: none"> □ 店舗・工場等の稼働率は回復傾向にあり、LPガス(業務用・工業用)の販売量は増加。 □ 巣ごもり需要は落ち着きつつあるが、家庭用LPガスの販売量は前年同期並み。卸売・オートガスの販売量は減少。 □ 産業用ガスの販売量は増加。
 <p>電力</p>	<ul style="list-style-type: none"> □ 店舗・工場等の稼働率は回復傾向にあり、高圧電力の販売量は増加。 □ 巣ごもり需要は落ち着きつつあるが、契約件数の増加により家庭用を中心とした低圧電力の販売量は増加。
 <p>車販売</p>	<ul style="list-style-type: none"> □ 新型車等の販売回復により、販売台数は増加。

各種販売数量(全社実績)

<ul style="list-style-type: none"> ■ ガソリン 1,920千KL (前期比 +5.2%) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ LPガス 331千トン (前期比 △ 1.7%) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 電力小売 1,800GWh (前期比 +10.0%取次数量含む)
<ul style="list-style-type: none"> ■ 軽油 2,465千KL (前期比 +6.7%) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 産業用ガス 50千トン (前期比 +2.6%) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新車 19千台 (前期比 +5.1%)

目次

◇ 2022年3月期第3四半期決算概要

- ① 全社概要
- ② セグメント別概要

◇ Appendix

2022年3月期第3四半期決算概要

① 全社概要

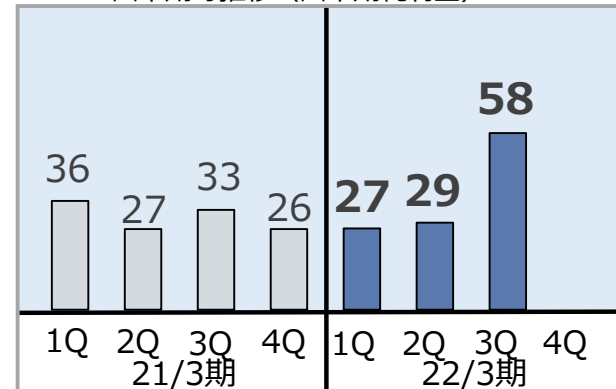
2022年3月期第3四半期 決算/サマリー

メガソーラーの子会社化に伴う評価益等により増益、3Q累計の過去最高益を更新

(億円)	21年3月期 3Q累計実績	22年3月期 3Q累計実績	増減	22年3月期 通期計画	進捗率
売上収益	5,157	6,570	+ 1,413	9,000*	73%
売上総利益	644	632	△ 12		
販管費	▲489	▲498	△ 9		
営業利益	159	179	+ 20	205	88%
持分法による投資損益	8	16	+ 8		
四半期純利益	95	113	+ 18	125	91%
売上総利益に対する販管費率	76.0%	78.9%	+ 2.9pt		
中間配当 (円/株)	22	23	+ 1		

*売上収益は2022年1月31日に当初の8,000億円から9,000億円に
通期業績予想の修正を行っております。

【参考】四半期毎推移 (四半期純利益)



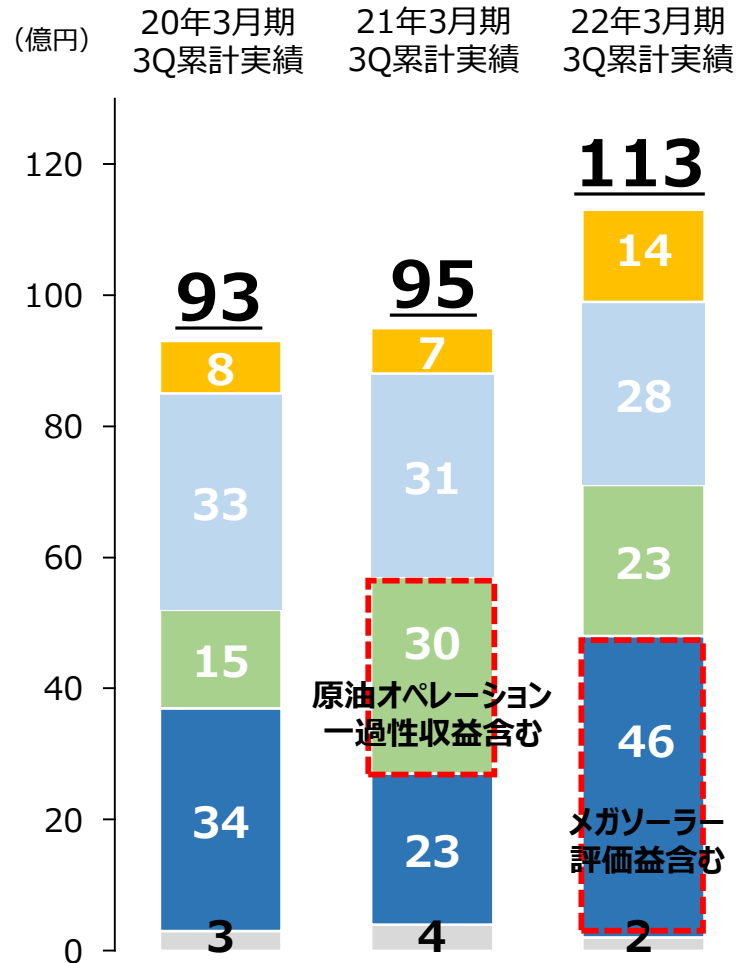
□ 「第3四半期純利益」は、前年比+19.0%・18億円増加の113億円。

前年同期の原油価格の変動を捉えたオペレーションによる一過性収益の反動等があったものの、LPガス輸入価格上昇に伴う在庫影響やメガソーラーの子会社化に伴う評価益により増益となり、3Q累計の過去最高益を更新。

□ 「売上総利益に対する販管費率」は、78.9%と、前年差+2.9%となり、営業活動一部回復により上昇。

セグメント別 四半期純利益

電力・ユーティリティ事業でのメガソーラーの子会社化に伴う評価益により増益



主たる増減要因

■ ホームライフ (前期比: +8億円、計画進捗率: 57%)

直売顧客軒数は、前期末より5千軒増加の約557千軒。LPガス販売数量は、業務用や工業用の需要は回復傾向にあるものの卸売やオートガスの減少により全体としては前年同期並み。損益面は、経済活動再開に伴う産業ガス関連事業の復調、LPガスの輸入価格の上昇に伴う在庫影響等により増益。

■ カーライフ (前期比: △3億円、計画進捗率: 75%)

給油所数は、前期末より37カ所減少し、1,650カ所。石油製品の販売数量は、灯油は前年同期を下回ったものの、ガソリンや軽油は経済活動の再開等により需要が増大し、全体としても前年同期を上回る。新車販売台数は、新型車等の販売回復により、前年同期を上回る。損益面は、自動車ディーラー事業の回復が貢献するも、石油事業の小売利幅縮小の影響が大きく、全体としては減益。

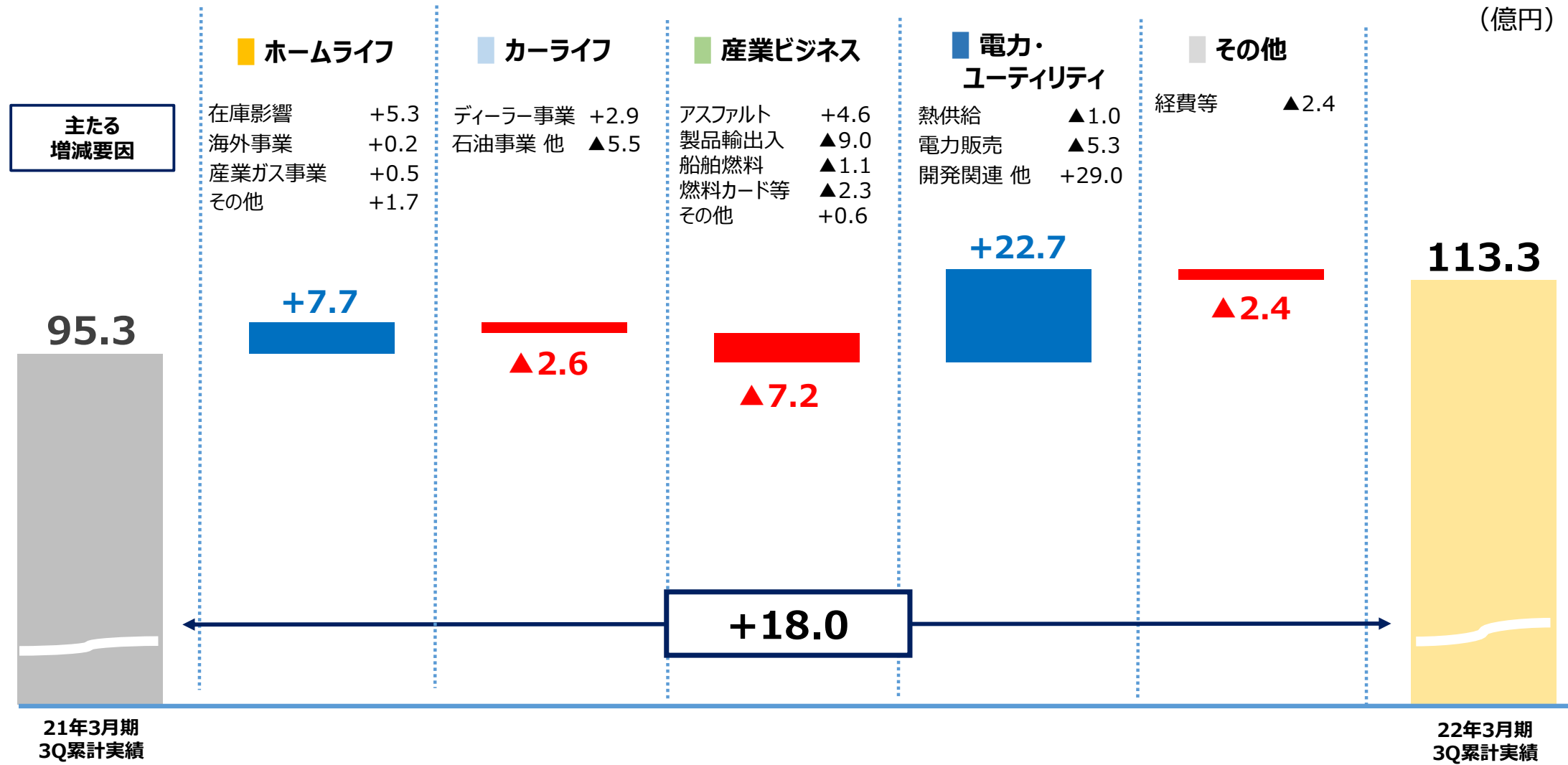
■ 産業ビジネス (前期比: △7億円、計画進捗率: 88%)

販売数量については、アスファルト事業は採算販売を徹底し、前年同期を下回る。船舶燃料販売事業は、内航船向けは既存顧客の新規航路向け供給を獲得したものの、外航船向け供給が減少し、前年同期を下回る。また法人向け自動車用燃料給油カード販売は、新規顧客開拓が奏功し、前年同期を上回る。損益面は、アスファルト事業において増益したものの、前年度の原油価格の変動を捉えたオペレーションおよび金融収益による一過性収益の反動が大きく、減益。

■ 電力・ユーティリティ (前期比: +23億円、計画進捗率: 118%)

電力小売のうち、高圧の販売数量は大型案件の獲得により前年同期を上回り、低圧の販売数量も家庭向けを中心とした契約件数の増加により前年同期を上回る。熱供給事業の需要量は、今夏の平均気温が前年を大きく下回ったことにより、前年同期を下回る。損益面は、資源価格の高騰による調達価格の上昇で電力小売利幅が圧縮となったが、大規模太陽光発電所(メガソーラー)の子会社化に伴う評価益により大幅増益。

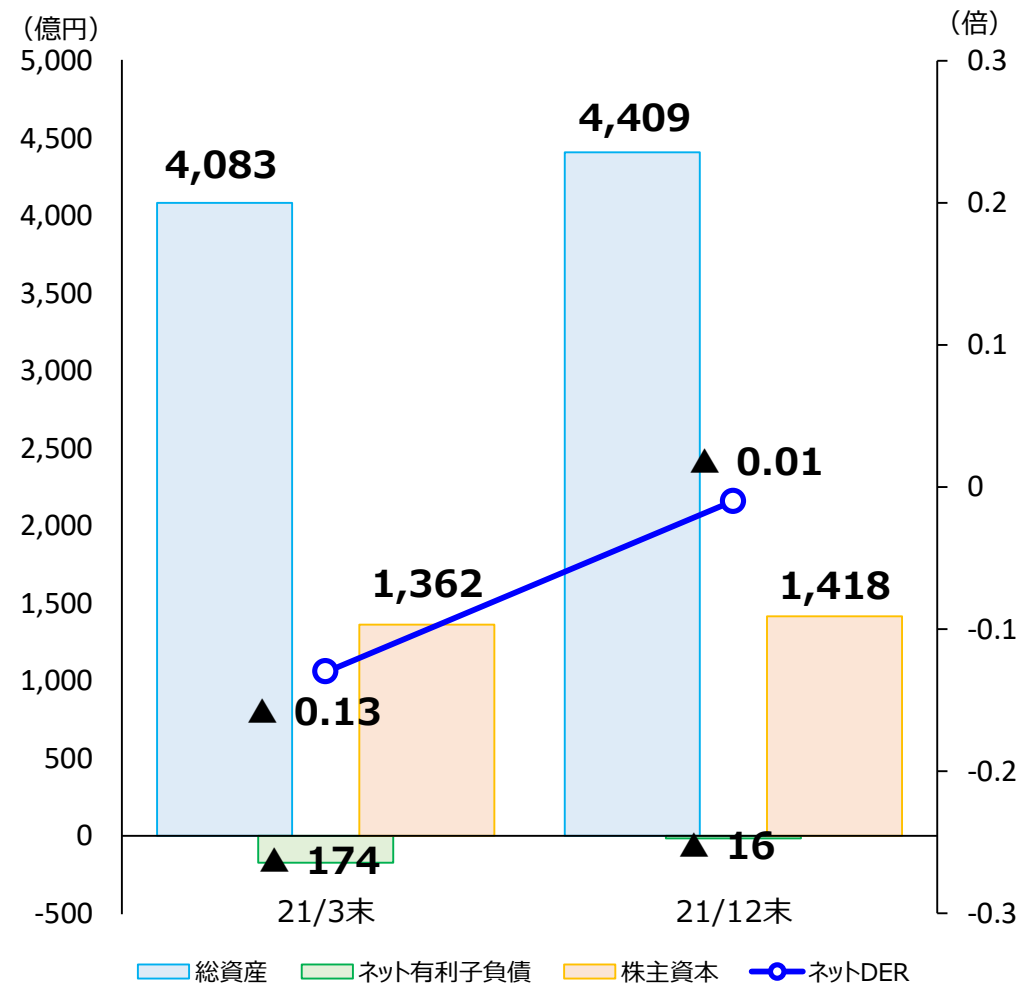
セグメント別 第3四半期純利益分析



季節要因等の影響で営業債権債務が増加

- **総資産** : 営業債権債務の増加により、前期末比325億円増加し、**4,409億円**。
- **株主資本** : 当期純利益の積上げ等により55億円増加し**1,418億円**。
- **ネットDER** : 借入金の増加によりネットDER増加。

(億円)	21年3月末 実績	21年12月末 実績	増減
総資産	4,083	4,409	+ 325
ネット有利子負債	▲174	▲16	+ 158
株主資本	1,362	1,418	+ 55
株主資本比率	33.4%	32.2%	△1.2pt
ネットDER	▲0.13倍	▲ 0.01倍	+ 0.12倍



キャッシュ・フロー

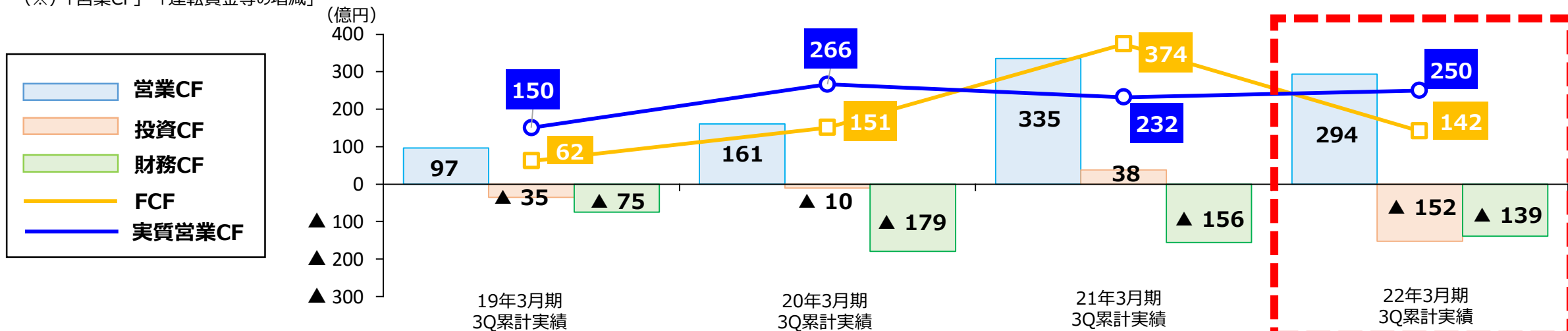
引き続き潤沢な営業CFを創出、成長投資によるキャッシュアウト増加

(億円)	19年3月期 3Q累計実績	20年3月期 3Q累計実績	21年3月期 3Q累計実績	22年3月期 3Q累計実績
営業活動によるキャッシュ・フロー	97	161	335	294
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲35	▲10	38	▲152
(フリー・キャッシュ・フロー)	62	151	374	142
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲75	▲179	▲156	▲139

実質的なキャッシュ・フロー

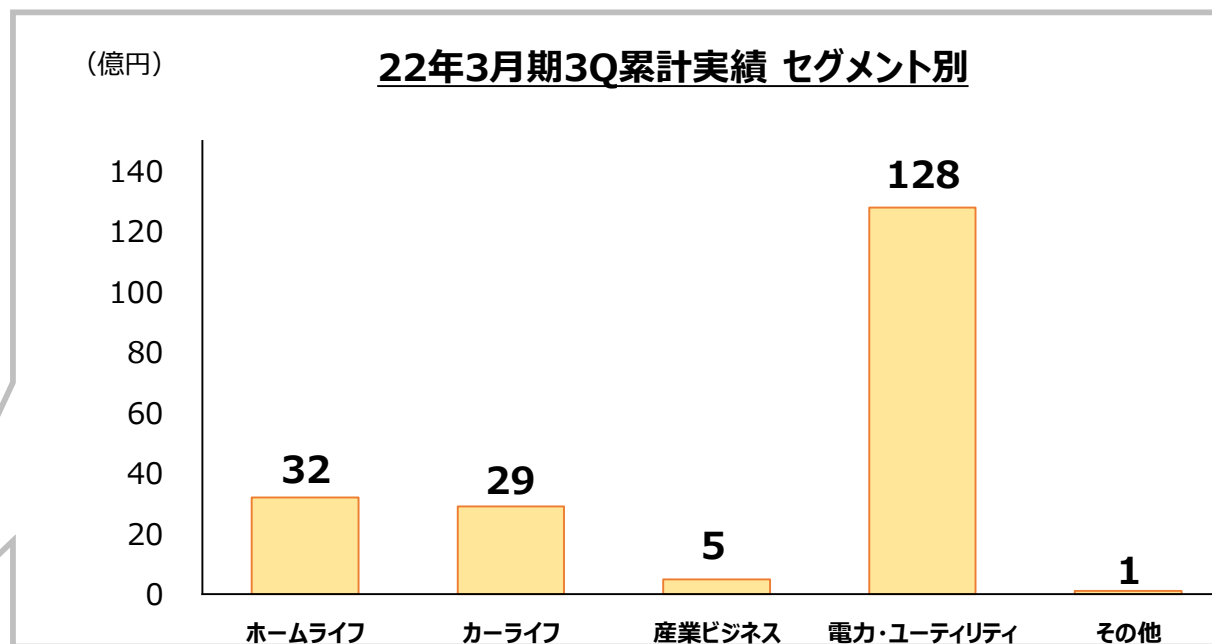
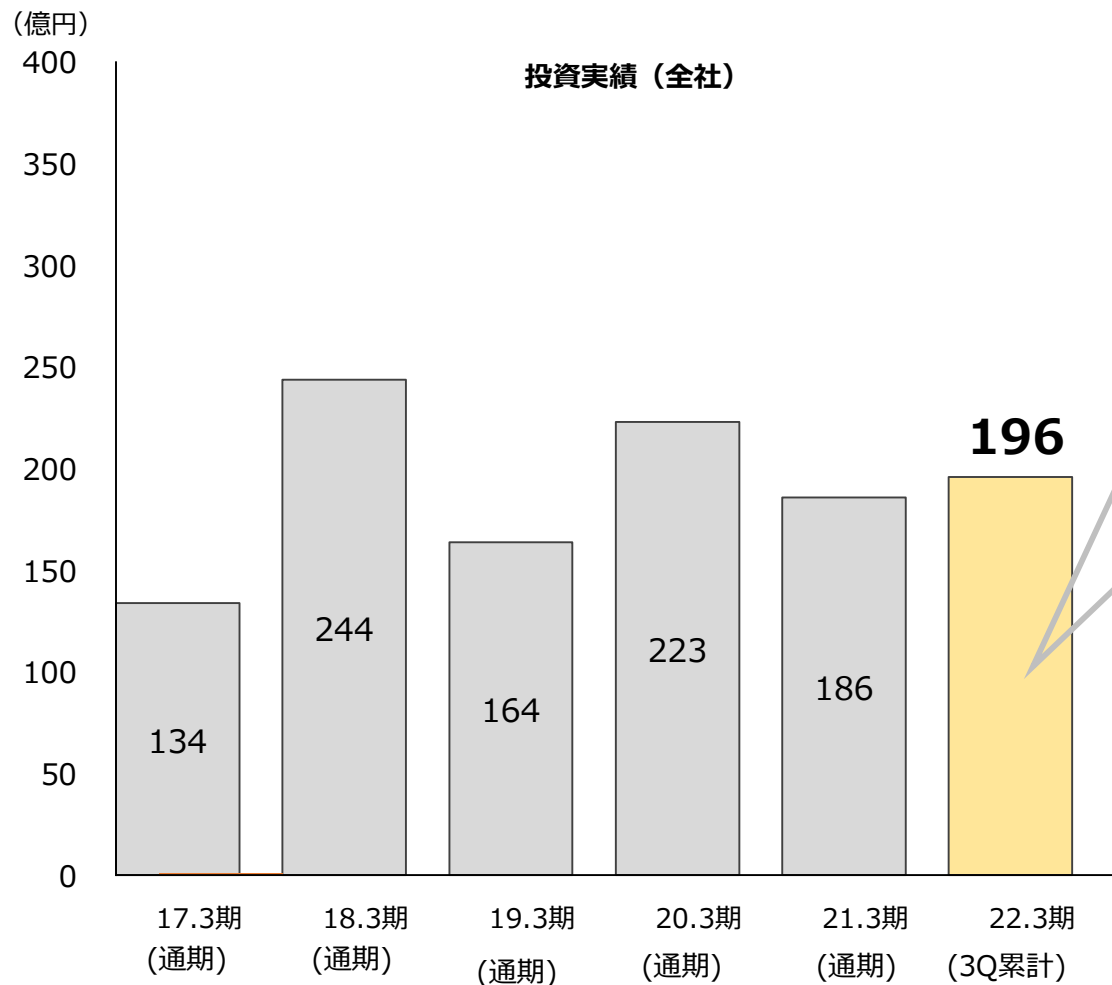
実質営業キャッシュ・フロー (※)	150	266	232	250
-------------------	-----	-----	-----	------------

(※) 「営業CF」-「運転資金等の増減」



投資の推移

電力・ユーティリティ事業でメガソーラー持分会社の全持分取得



主な投資実績

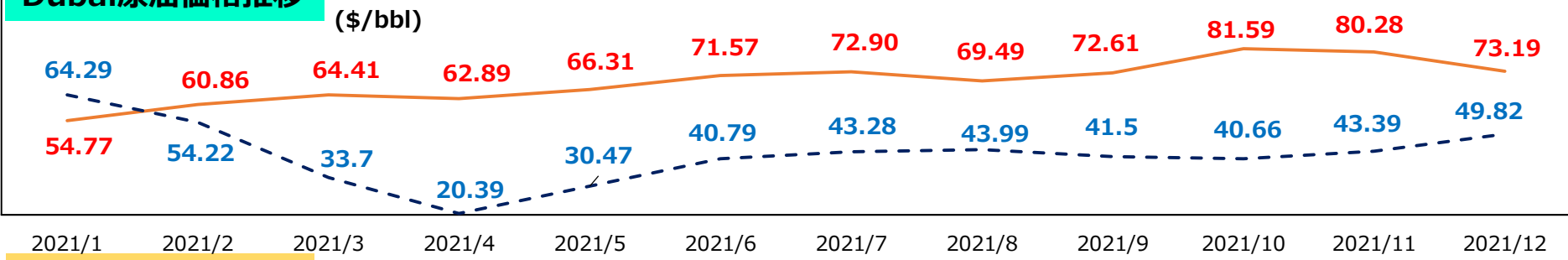
ホームライフ	設備投資、営業権買収、等
カーライフ	設備投資、等
産業ビジネス	設備投資、等
電力・ユーティリティ	設備投資、開発関連、等
その他	設備投資、等

(参考) 市場動向

原油、CPは前年4月に底値を付け、継続して上昇

--- 前年同月 — 直近値

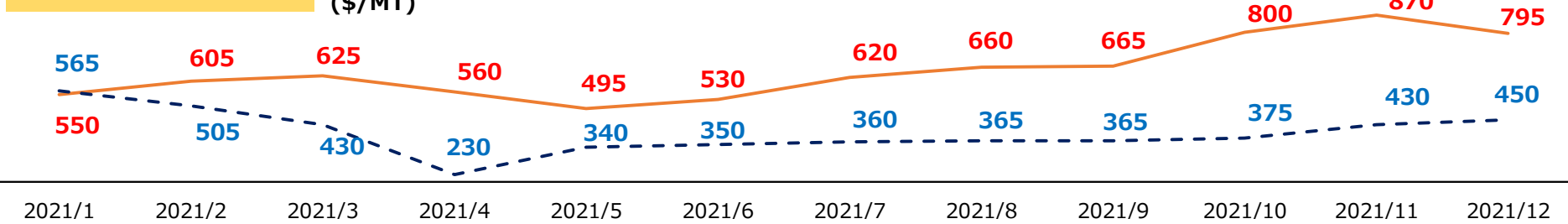
Dubai原油価格推移



平均

直近値	69.2
前年同月	42.2
前年差	+27.0

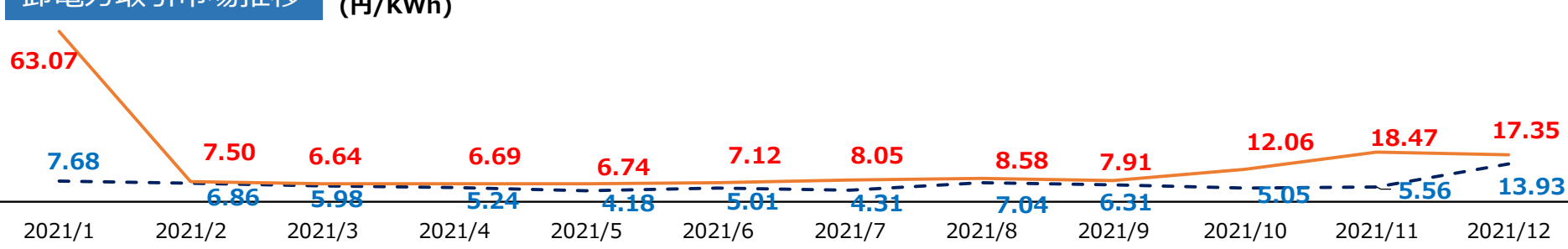
プロパンCP価格推移



平均

直近値	648
前年同月	397
前年差	+251

卸電力取引市場推移



平均

直近値	14.18
前年同月	6.43
前年差	+7.75

2022年3月期第3四半期決算概要

② セグメント別概要

セグメント別業績

(億円)		21年3月期 3Q累計実績	22年3月期 3Q累計実績	増減	増減率 %	22年3月期 通期計画	進捗率
■ 全社	売上収益	5,157	6,570	+1,413	+27.4	9,000※	73%
	営業利益	159	179	+20	+12.5	205	88%
	当期純利益	95	113	+18	+19.0	125	91%
■ ホームライフ	売上収益	526	610	+84	+16.0	—	—
	営業利益	8	13	+5	+63.1	—	—
	当期純利益	7	14	+8	+115.5	25	57%
■ カーライフ	売上収益	2,956	3,757	+800	+27.1	—	—
	営業利益	56	56	△0	△0.8	—	—
	当期純利益	31	28	△3	△8.5	38	75%
■ 産業ビジネス	売上収益	1,116	1,548	+432	+38.7	—	—
	営業利益	38	33	△5	△14.1	—	—
	当期純利益	30	23	△7	△24.0	26	88%
■ 電力・ ユーティリティ	売上収益	559	655	+96	+17.3	—	—
	営業利益	50	74	+24	+47.9	—	—
	当期純利益	23	46	+23	+97.8	39	118%

※売上収益は2022年1月31日に当初の8,000億円から9,000億円に通期業績予想の修正を行っております。

ホームライフ部門 LPガス輸入価格の上昇に伴う在庫影響等により増益

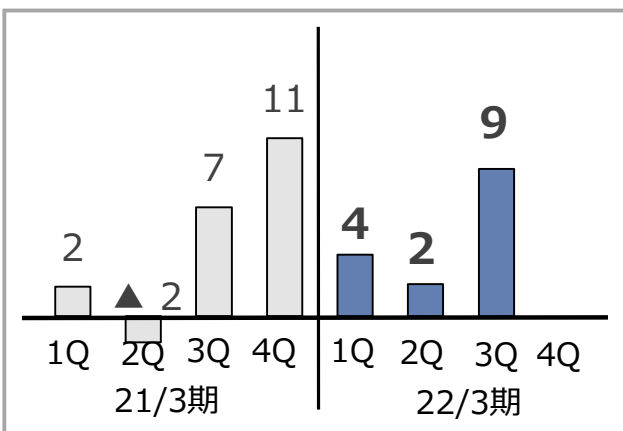
(億円)	21年3月期 3Q累計実績	22年3月期 3Q累計実績	増減
売上総利益	146	152	+5
販管費	▲139	▲ 141	△2
営業利益	8	13	+5
持分法損益	6	12	+6
四半期純利益	7	14	+8

主たる増減要因

直売顧客軒数は、前期末より5千軒増加の約557千軒。LPガス販売数量は、業務用や工業用の需要は回復傾向にあるものの卸売やオートガスの減少により全体としては前年同期並み。損益面は、経済活動再開に伴う産業ガス関連事業の復調、LPガスの輸入価格の上昇に伴う在庫影響等により増益。

22年3月期 計画	進捗率
25	57%

四半期毎推移（当期純利益）



主な関係会社損益

	21年3月期 3Q累計実績	22年3月期 3Q累計実績	増減
伊藤忠エネクス ホームライフ西日本	4	3	△0
エコア（当社持分51%）	3	5	+2
エネアーク （当社持分50%）	3	3	△1

顧客軒数(千軒)

	21年 3月末	21年 12月末	増減
LPガス直売軒数	552	557	+5
電力小売軒数	109	117	+8

販売数量	21年3月期 3Q累計実績	22年3月期 3Q累計実績	増減比
LPガス(千トン)	328	323	△1%
産業用ガス(千トン)	49	50	+3%

※LPガスの21年3月期3Q累計実績は、再算出により前年補足説明資料から変更
Copyright©2022 ITOCHU ENEX CO.,LTD. All rights reserved.

カーライフ部門

自動車ディーラー事業は回復するも石油事業の小売利幅縮小により減益

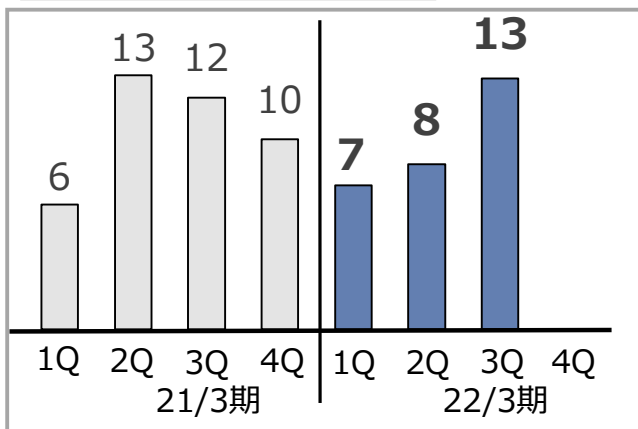
(億円)	21年3月期 3Q累計実績	22年3月期 3Q累計実績	増減
売上総利益	344	341	△3
販管費	▲289	▲ 286	+3
営業利益	56	56	△0
持分法損益	0	1	+0
四半期純利益	31	28	△3

主たる増減要因

給油所数は、前期末より37カ所減少し、1,650カ所。石油製品の販売数量は、灯油は前年同期を下回ったものの、ガソリンや軽油は経済活動の再開等により需要が増大し、全体としても前年同期を上回る。新車販売台数は、新型車等の販売回復により、前年同期を上回る。損益面は、自動車ディーラー事業の回復が貢献するも、石油事業の小売利幅縮小の影響が大きく、全体としては減益。

22年3月期 計画	進捗率
38	75%

四半期毎推移（当期純利益）



主な関係会社損益

	21年3月期 3Q累計実績	22年3月期 3Q累計実績	増減
エネクスフリート	18	12	△6
大阪カーライフグループ (当社持分51.95%)	4	7	+3

販売数量

	21年3月期 3Q累計実績	22年3月期 3Q累計実績	増減比
ガソリン(千KL)	1,276	1,291	+1%
灯油(千KL)	211	181	△14%
軽油(千KL)	1,502	1,539	+2%
新車(千台)	18	19	+5%
中古車(千台)	16	16	△0%

※ガソリンの21年3月期3Q累計実績は、再算出により前年補足説明資料から変更

産業ビジネス部門

一過性収益等の反動で前期比減益だが、アスファルト事業改善

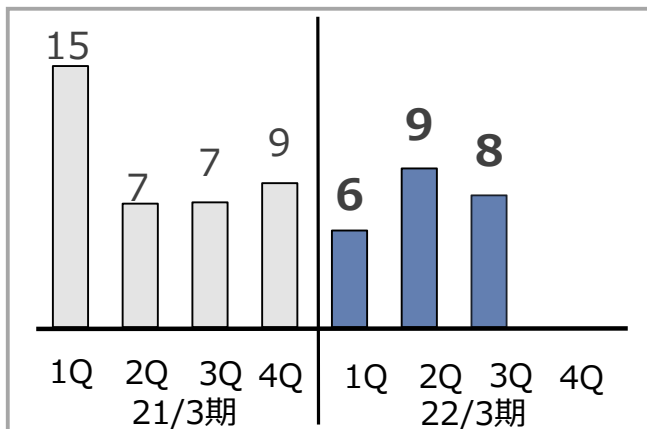
(億円)	21年3月期 3Q累計実績	22年3月期 3Q累計実績	増減
売上総利益	69	69	+1
販管費	▲31	▲ 36	△5
営業利益	38	33	△5
持分法損益	1	0	△0
四半期純利益	30	23	△7

主たる増減要因

販売数量については、アスファルト事業は採算販売を徹底し、前年同期を下回る。船舶燃料販売事業は、内航船向けは既存顧客の新規航路向け供給を獲得したものの、外航船向け供給が減少し、前年同期を下回る。また法人向け自動車用燃料給油カード販売は、新規顧客開拓が奏功し、前年同期を上回る。損益面は、アスファルト事業において増益したものの、前年度の原油価格の変動を捉えたオペレーションおよび金融収益による一過性収益の反動が大きく、減益。

22年3月期 計画	進捗率
26	88%

四半期毎推移（当期純利益）

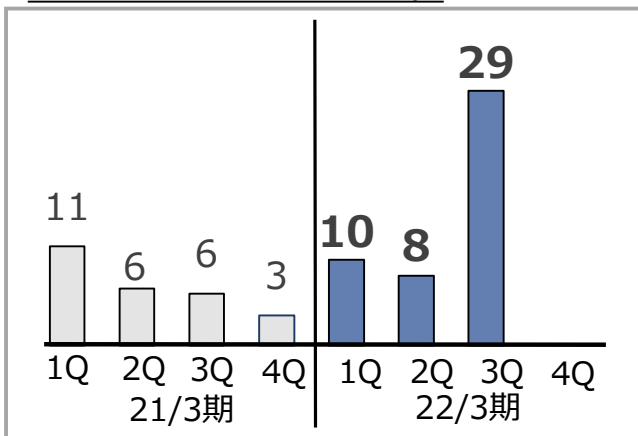


販売数量	21年3月期 3Q累計実績	22年3月期 3Q累計実績	増減比
ガソリン(千KL)	537	617	+15%
灯油(千KL)	289	290	+0%
軽油(千KL)	802	922	+15%
重油(千KL)	1,683	1,366	△19%
アスファルト(千t)	227	210	△7%

電力・ユーティリティ部門 メガソーラーの子会社化に伴う評価益により大幅増益

(億円)	21年3月期 3Q累計実績	22年3月期 3Q累計実績	増減	主たる増減要因	22年3月期 計画	進捗率
売上総利益	85	69	△16	電力小売のうち、高圧の販売数量は大型案件の獲得により前年同期を上回り、低圧の販売数量も家庭向けを中心とした契約件数の増加により前年同期を上回る。熱供給事業の需要量は、今夏の平均気温が前年を大きく下回ったことにより、前年同期を下回る。損益面は、資源価格の高騰による調達価格の上昇で電力小売利幅が圧縮となったが、大規模太陽光発電所（メガソーラー）の子会社化に伴う評価益により大幅増益。	39	118%
販管費	▲37	▲ 39	△2			
営業利益	50	74	+24			
持分法損益	2	3	+2			
四半期純利益	23	46	+23			

四半期毎推移（当期純利益）



主な関係会社損益	21年3月期 3Q累計実績	22年3月期 3Q累計実績	増減
エネクス電力グループ	8	6	△2
エネクスライフサービス	2	2	△0
東京都市サービス (当社持分66.6%)	10	9	△1
王子・伊藤忠エネクス電力販売 (当社持分60.0%)	9	4	△5

販売数量	21年3月期 3Q累計実績	22年3月期 3Q累計実績	増減比	
電力小売(GWh)※	1,636	1,800	+10%	
内訳	高圧販売※	1,236	1,328	+7%
	低圧販売※	401	472	+18%
蒸気(千トン)	380	357	△6%	
熱量(TJ)	974	928	△5%	

※速報値ベースでの算出
※電力小売については、取次数量を含む

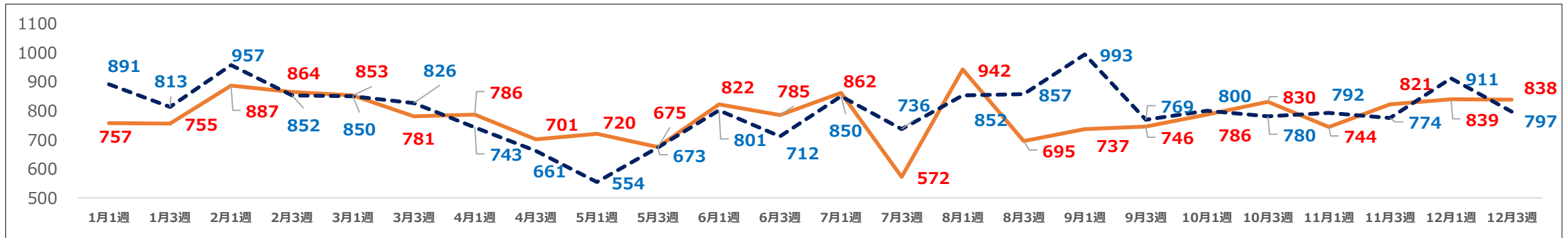
Appendix

Appendix

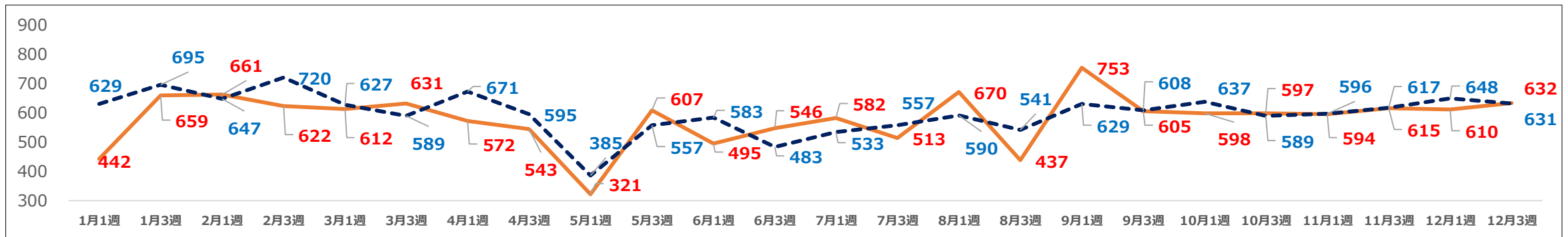
【参考】 ガソリン・軽油の国内出荷状況(全国統計)

ガソリン週間出荷量 単位(千KL)

--- 前年同月 — 直近値



軽油週間出荷量 単位(千KL)



※ 石油連盟の統計資料を基に作成

Appendix

【参考】LPガス月別販売数量(12月～11月 全国統計)

単位(千 t)

	12月			1月			2月			3月			4月			5月		
	2019	2020	増減	2020	2021	増減	2020	2021	増減	2020	2021	増減	2020	2021	増減	2020	2021	増減
家庭・業務用	804	828	+3%	780	813	+4%	747	736	△1%	749	764	+2%	646	616	△5%	513	522	+2%
自動車用	51	37	△27%	45	29	△36%	42	27	△36%	41	31	△24%	29	30	+3%	22	26	+18%
合計	855	865	+1%	825	842	+2%	789	763	△3%	790	795	+1%	675	646	△4%	535	548	+2%

	6月			7月			8月			9月			10月			11月			合計		
	2020	2021	増減	2020	2021	増減	2020	2021	増減	2020	2021	増減	2020	2021	増減	2020	2021	増減	前年 年間	直近 年間	増減
家庭・業務用	454	494	+9%	451	458	+2%	412	405	△2%	401	442	+10%	526	509	△3%	616	618	+0%	7,099	7,205	+1%
自動車用	31	30	△3%	37	33	△11%	35	31	△11%	35	29	△17%	36	33	△8%	33	31	△6%	437	367	△16%
合計	485	524	+8%	488	491	+1%	447	436	△2%	436	471	+8%	562	542	△4%	649	649	+0%	7,536	7,572	+0%

※ 日本LPガス協会の統計資料を基に作成

Appendix

【参考】新車／月別販売台数(普通車・小型車、軽自動車)(1月～12月 全国統計)

単位(千台)

	1月			2月			3月			4月			5月			6月		
	2020	2021	増減	2020	2021	増減	2020	2021	増減	2020	2021	増減	2020	2021	増減	2020	2021	増減
普通・小型車	193	208	+8%	233	227	△3%	322	329	+2%	145	183	+26%	124	166	+34%	182	198	+9%
軽自動車	108	116	+7%	129	135	+5%	163	181	+11%	75	106	+42%	51	96	+89%	102	99	△3%
合計	301	324	+8%	362	362	+0%	485	510	+5%	220	289	+32%	175	262	+50%	284	297	+4%

	7月			8月			9月			10月			11月			12月			合計		
	2020	2021	増減	2020	2021	増減	2020	2021	増減	2020	2021	増減	2020	2021	増減	2020	2021	増減	前年 年間	直近 年間	増減
普通・小型車	207	213	+3%	169	176	+4%	252	170	△33%	221	151	△32%	219	189	△14%	211	191	△9%	2,479	2,399	△3%
軽自動車	123	97	△22%	101	88	△13%	138	87	△37%	154	103	△33%	159	133	△16%	136	118	△14%	1,439	1,358	△6%
合計	331	309	△6%	270	264	△2%	391	257	△34%	375	253	△32%	378	322	△15%	347	309	△11%	3,918	3,757	△4%

※ 日本自動車販売協会連合会 及び 全国軽自動車協会連合会の統計資料を基に作成

問い合わせ先

IR室 担当：今泉、中村
【TEL】03-4233-8025 【FAX】03-4533-0103
【E-MAIL】enex_irpr@itcenex.com